

20 人権問題についての意見・要望

ご意見・ご要望を自由に記述していただいたところ、529 件の様々な意見が寄せられました。紙面の都合上、抜粋した意見を分野ごとに分類して記載いたします。内容については、意見の趣旨を損なわないよう、一部要約したものもあります。

人権全般に関する意見

- 「人権」とはそもそも思いながら、回答をすすめて参りました。尊重され当たり前と思うからでしょうか。このご時世、人権主張よりも、「個」、人間としての個性の時代だと思っております。どうか未来の子ども達にはもっともっと「個」を大切に、しかし、意味のはき違いは無い様モラルは大切に育て欲しい物です。
- それぞれの校種において、人権教育が進められているが、地域、学校において、温度差が大きい。中心となって進める人材によっても隔たりがある。人権とは、「人として誰もが生まれながらに持っている、幸せになる権利」であるが、自分がそれを侵害される立場になって、はじめて意識するのが実情である。気づかぬうちに、誰かを差別してしまっていることもある。人権が当たり前前に守られ、お互いに相手を思える国になってこそ、先進国・民主主義国といえるのではないのでしょうか。
- 人権問題がなくなる原因の一つに格差問題（社会）の広がりがあると思います。格差により不公平感があることで、人々の心に他人との協調性が生まれにくい状態になってしまうと思います。
- 自分の事と捉えていない人が多い。国や地方自治体も本気でなくそうとは考えていないのではないかな。また、マスコミも偏向報道などはやめるべき。そこから差別が生まれる。
- インターネット・人種差別・いじめ・介護・病気、昨今では新型コロナウイルス感染症など様々なでき事で精神的に追い詰められ、それにより生命を落されてしまうそんな生きづらい世の中です。今回アンケートに回答し、改めて“人権”について考えさせられました。自分自身を省みる事ができ、この機会に恵まれました事に感謝します。人権を尊重される社会になる事、願います。
- “人権”と“自己中心的な考え”とが混同されて、自己主張する人が増えてきたように感じます。“〇〇ハラスメント”という表現も先に声をあげたもの勝ちのような風潮もよくないと感じます。自分も相手も、逆の立場でも納得し、認め合えるのが、“人権”なのでは。正しい感覚を身に付ける方策が大人も子どもも必要だと思います。

- 世の中にはいろいろな人がいて自分が一番正しいわけではないこと。人に対して差別、偏見、いじめなどをするのは人としてレベルが低いこと。自分がかawaiiそうだと常識の範囲を超えて大げさに訴えるのは人としてレベルが低いこと。自分でどうにかできることではない人権ということに関してはどっちが良い、悪いの問題ではないことを小学校から教えるべき。教える教師は加害者よりでも被害者よりでもない考えの人間でなくてはならない。被害者意識も加害者意識ももたない人達の世の中なら客観的に人権問題を改善、解消に向けて少しずつ動いていけると思う。国籍、肌の色、障害、同和問題などの面ではなく、相手の中身をみられるような人間に子ども達を教育することが大切だと思う。
- 人権と言っても、様々な問題があります。幼児期からの教育が大切かと思えます。他人を思いやる心 大切にすることが自分にも回ってくると思えます。一人一人が考えなければいけないと思えます。
- 今回のアンケートを回答しながら、考えてみましたが、人権問題が起こる原因は、その問題が起こる、原因や背景が正確に理解されていないことに尽きると思いました。普段からの啓蒙、教育の普及が、とても大事だと思います。無知が、最も問題と感じました。世の中から無知をなくすことが、重要だと思います。
- 人権問題と言っても難題です。現在国民全体の数パーセントしかこの問題に関心だと思います。今コロナの問題が、大きな話題になっていますが、直接個人にふりかかって来るので、関心が高いと思えます。人権的自由権も、マスコミやテレビ、ラジオ等で、取り上げ、少しでも意識を持つ世の中に成ればいいと思えます。
- 学校での教育を充実し、早い段階での理解と問題に触れ、考える機会を増やす事が大切だと思います。
- 人権意識は教育により身に付くものではなく、一人一人のモラルの底上げにより立ち振舞いを改めるべきものと認識します。行政による旧来型の普及啓発よりも、Web上で影響力を持つ人々の言動により気づかされる部分も大きいと思われます。令和の時代にフィットした新しい普及啓発の形に期待しております。
- 人権問題は根本原理の問題であるにもかかわらず、その世代や時代背景の経験により、捉え方や問題意識がかなり異なっていることをまず認識する必要があります。人権被害を受けている人の救済も必要なのですが、恒久的に考えるなら日本国の将来を支える「基本人権」を早く取り纏め、それに沿った教育を若年層より手掛けていく、そういった教育体制の制定が急務と考えます。

II. 調査結果の分析

- 押し付けではなく、1人1人が考える機会を作ることが重要と考える。その意味でも差別を受け側とする側が交流する場でお互いの意見に耳を傾け、理解が少しでも進むことを願っております。
- 人権侵害を受けていても人権侵害と気がつかない被害者も多いと思います。種類を問わず、皆が自身の人権について皆がもっと興味を持つことができる啓発活動が重要だとも思います。
- 根本的な解決方法としては、教育の徹底しかない。学童、学生、一般市民に対しての教育もさることながら、県政市政に携わる政治家・職員、教育に携わる教職員が先ずは模範となるべきでしょう。
- 生まれてからずっと埼玉県で暮らしています。性別、年齢、国籍等さまざまな人が暮らしていますが、その事を小さいうちから普通の事と思い、出来る人が出来ない人を助け合うなど、お互い様と思って生活出来る埼玉県であって欲しいです。
- 昨今人権の問題に関して意識が高まっていると感じています。教育の賜物か、これが人権侵害であると今までは認識出来なかった人が認識出来るようになり、次々と声をあげられるようになってきたのだと感じています。と、同時に世代による認識や理解の差も感じており満遍なく理解されるには時間のかかる問題とも考えています。せめて新しい世代には、教育などを通して理解や認識を正しい形で与えられたらと思います。

女性の人権について

- 私はシングルマザーです。離婚後、ハローワーク等で仕事を探しておりましたがお給料の高い仕事や管理職や人の上に立つ仕事（長く務めていけそうな仕事）は全て男性の募集がほとんどで、女性は面接すらできない所がほとんどでした。女性は出産等があるので、仕事をやめられたら困るというのはわかりますが、それも育児や家事は女性がやるという固定観念があるからだと思います。男性も育児休暇を取るのが当たり前となり、女性でも長く会社に務めて管理職等にもつかる（女性の就職活動も男性と変わらないくらい選択肢のある、給料も男女変わらない）のが当たり前の世の中になってほしいです。
- 働く女性が増えているが、男性よりも賃金や出世に格差があると思う。
- おとなしく、我慢してかわいらしくふるまう女性が美しい女性像だと思っている男性が多い気がします。性生活などにおいても女性が「嫌だ」「これはNG」と言えるのが当たり前の世の中になってほしいです。昨今のアイドルなどを見て思うのですが、女性をお人形さんのように妄想するような風潮もどンドン壊していかないとはいけません。誰のお陰で自分が生まれて来たのか。女性が十月十日胎児を育てて出産したから自分も生きている事実をもっと世界中の男性に啓発して行く努力が大事です。

- 人権問題について気軽に話せる場が増えるといいなと思います。大学でもそのような講演会が行われてほしいです。特に女性の人権は日本ではまだまだ認められないので、特にそこを推進していただけると幸いです。まだ差別を認識していない年齢からの人権教育が必要だと思います。人権教育と性教育は紙一重だと思いますので、アフターピルも認可されましたし、性教育も推進していけたらいいなと思います。よろしく願いいたします。

子どもの人権について

- 全ての人権が大切ですが、まずは自分で解決できない子どもの人権が守られる社会になってほしいと切に願います。
- 人権問題は誰にでも起こりうることで人に思いやりを持って接することの大切さをまず子ども達に説いてほしいと思います。授業の中で教えていく必要があると思います。(人権問題に絡んだ色々な犯罪が多いので、子を持つ親として心配です)
- いじめ問題が、一番心がいたみます。自殺者も増え、大人になっても精神的にたち直れず、転校しても、トラウマが消えず苦しむ人も多いと思います。前から思っていた事ですが、転校して逃げるのが一番良いとの意見が多くありますが、いじめた方は、何もとがめられず笑って人生を送る事に違和感をおぼえます。小さいうちから学校でも親も考える必要があると思います。いじめっこが他校に行ったら、変わって来たという話もききますが…。いじめっこが強くてというのは反対でひきょう者だと言いつづける事が大事かと思います。
- 子どもの人権について、もっと深めて欲しい。児童虐待問題に対してもっと踏み込んだ対応を早急に進めて欲しい。子どもは未来の宝物。教育も含めて早急に改善して欲しいです。

高齢者の人権について

- 人権問題はとても難しいと感じます。私は非正規で現在勤めておりますが、同じ職の正規職員でいた頃より、自分の能力を存分に生かせるようになりました。確かに労働条件等、劣る点もあり、不便に感じることもありますが、充実感、満足感の方がより大きいです。高齢者についても、周囲は快適に過ごせるための施設を整え、入居や利用を促す傾向にありますが、当人が自分らしく生きられなければ、人権を侵すことになりかねません。要は、うわべや形を整えるのではなく、万人が人を互いに認め合う社会であることが目指すものだと思うのです。社会のルールを破ったり、他者に迷惑をかけたたり犯罪等行ったりしない限り、人々の生き方、考え方を尊重できる世の中になるといいなと願っています。

II. 調査結果の分析

- 私は仕事柄、高齢者と話す機会が多いです。施設に入居している方々は口を揃えて「自由が無い」と仰っています。元気に歩行できる方が、近隣のスーパーやコンビニに買物へ行く事すらも許されないのが現状です。付添いの人員を確保できない施設側としては危険回避の措置なのでしょう。結局のところ介護業界の（現場の）人手不足を解消しなければ、高齢者、障害者の人権も何もないと思います。
- 子どもの頃から障害のある子どもが、地域の小学校に通いやすくしたり、老人ホームに見学に行ったりとか、交流があると良いと思います

障害者の人権について

- 障害者の人が差別されないようにもっと力を入れてほしいです。車イスの人や身体の不自由な人、弱い立場の人がこれからも楽しく生きられたらいいなと思います。私は、知的障害を持っていて、そのことをバカにされたりしました。「気もちわるい」や「バカだから特別支援学級にいるんですか？」とか同年代の子に言われたことがあります。障害に関する理解がもっとほしいです。誰だって、心を病んだり、体が動けなくなったりする可能性はあるのですから。
- 身近に障害をもった人がいます。家庭の事情で、春からグループホームに入居しました。しかし、コロナを理由に1ヶ月分の入居金を払っているにもかかわらず、1週間に2泊しか宿泊させてもらえません。先日、ホームで夜中に発作を起こしましたが、次週からアルバイトの職員しかいないのを理由に宿泊を断られました。相談したくても、その地域で大きな福祉会で市も全面委託しているので、ホームを退去させられるのがこわくて意見が言えない状態です。その地域の相談支援センターにも、その福祉会の名前があり相談を悩んでいます。これは、人権が尊重されていないのではないかと思います。
- 理解を深め助け合いや支援をしていくことが大事。例えば身体、精神障害の人達には減税したり、バリアフリー施設を増やしたりなど。
- 我が家の下の子は障害があります。騒いだら冷たい目でみられたり、不快な表情をされたりする。誰もが学んで理解する事は難しいとは思いますが、そういう人がいるという事実を知って少しだけいいので寄り添って欲しい。下の子本人もそうですが、上の子が生活してゆく中で、経済的にも、精神的にも負担にならないかと願います。

同和問題（部落差別）について

- 人権尊重が、広すぎてせつかくの調査が役立つのか少し疑問。同和問題は学校で教育されなければ、存在を知らなかったのので、社会にでる前に正しい知識を得るのは大切だと思います。

- 今回同和問題についての問いがありましたがあってもあるのでしょうか。他県から来たので知りませんが古い人は知っているのでしょうか…。
- 寝た子を起こすのと意識を持たせることのバランスがむずかしそうです。同和問題等、若い子の方が差別していないような気がします。

外国人の人権についての考え

- 基本的人権は、当たり前だけれども、説明するのがとても難しいものだと思います。また日本では当たり前に使っているハーフやクォーターなどは国際的に見ると差別的発言だという事を知っていかなければいけない。日本には海外のような人種差別などが無いように思えるが、実は色々なところにある事を教えていかなければいけないと思う。
- 不法滞在の外国人の取り締まりを強化してほしい。
- 日本で正規に仕事をする外国人に対する権利は、可能な限り、国民と同じレベルにすべき。色々な課題はあると思いますが、これから外国人のサポートが必ず必要になってくると思います。そのために今から人が集まる土台は作っておく必要があると思います。何かをやらなければ、必要とする人材が集まらないと思います。

犯罪被害者やその家族の人権について

- このアンケートはあまり意味を持ちません。該当者の意見が大事。犯罪被害者やその家族のみ守れる県にして欲しい。
- ネットの普及で知らないことまで知ってしまい差別することがあると思う。犯罪被害者の名前を報道することで加害者よりも生きづらさを感じることはあまりにも酷すぎる。ネットの誹謗中傷に対して罰則が軽すぎるから、どうせ書いても大したことがないと思ってしまうのだと思う。

新型コロナウイルス感染症の人権について

- コロナ禍で県外ナンバーの車にいやがらせをうけた車があると、ニュースなどで知り県外に長期滞在する事に不安を感じる。又、病院によっては県外から来た人に対して面会（院内）に入る事も出来ない。（介護施設も）

II. 調査結果の分析

- コロナウイルスに関する人権問題について、医療従事者への報酬や差別を受けたことへの保障など国や県の対応、政策が薄すぎると感じています。また、教育現場においても、県の教育委員会の対応、対策は遅く、結局それぞれの学校独自の方針で、なんとか子どもたちの未来へつなげている状態であると認識しています。現場の先生方へもっと手厚い報酬や保障があってしかるべきと思います。

刑を終えて出所した人の人権について

- 若年（少年A等）での凶悪犯罪者が生活圏内にいると思うと子育てしている者としては不安になる。これは自身が未熟故の差別なのか。しかし犯罪の再犯率を考えると、更生できない服役プログラムへの不信感からの不安かとも思う。再犯率が改善されないならしかるべき対策をして欲しい。

インターネットによる人権問題について

- この数年、SNS等での他者に対する非難中傷があまりにも酷すぎる。匿名性が高いので、発信者に罪の意識が、あまりないのでは…と思う。インターネット上の人権問題は、今後、更に悪くなっていく様な気がするので、一刻も早く対策を考えた方が良いのでは…と心配でならない。
- LINEなどSNSによる差別、いじめへの対応が必要になるのではないかと思う。昨今のこどもの自殺の理由に挙げられるような卑怯な手段＝SNSによる誹謗が気にかかります。
- インターネット上での誹謗中傷は、現代において、最も身近で、最も危険性を孕んだ人権問題だと感じる。
- 最近はインターネットの普及等あり、情報が間違っ流れたり、大勢が、その情報が当たっていると行動したりする。（世間に流される）いい方向に行けば良いのですが…。もっともっと様々な人々との交流が自然とできる世の中を望みます。

性的マイノリティ（LGBT等）の人権について

- 差別をなくすための議論は多方面から見て慎重に進める必要がある。人権を尊重する啓発活動は、SNSやテレビなどメディアを通じて行うのが最も効果的であると思う。個人的には、若い世代の方が性的マイノリティに対しての理解は進んでいるように感じる。

- 職場でLGBTへの理解や発達障害者の方の職場での対応などの教育がありましたが、昔ではこのような人達がいるなど理解されなかった事が社会的に広められているのが良い事だと思います。それでも差別が無くなるのは難しいと思います。差別がいけない事を訴えるのは必要だと思います。
- 埼玉県も同性パートナーシップ制度を導入して欲しい。
- あらゆる書類で性別を記載する場面が多いが、何のために性別を記載するのか意味のないものが多い。自分はLGBTではないが、幼い頃からどっちでもいいじゃないかと思ってきた。一斉集団行動の教育そのものにムリがあると感じてきた。一定人数のいる企業は役員や管理職に偏った性別しかいない場合は、法人税が高くなるなどの具体的な対策がないと(年間有給休暇取得が5日以下だと罰金があるように)、凝り固まった思想の組織は変わらないのではないかと。

拉致問題について

- 拉致問題の早期解決を祈っております。
- 北朝鮮問題、日本国民が日本国内で拉致されたにもかかわらず未だ安否すらわからない。国はもっと本気に取り組んでもらいたい。知識を持って仕事をしなければならぬ議員が平然と女性を蔑視した発言を悪びれもなく発言している姿を見ると腹立たしい。親や先生の人権尊重の価値観が低ければ、いくら子どもに教育してもダメだと思う。

働く人の人権問題について

- 職場でのパワハラやセクハラ等を受けた者が1年以内に辞めた場合でも、再就職が出来る世の中になってほしいと思いました。学歴や顔ではなく、人の性格や、やる気など、その人の良さを伝える場面がもっと増えていけばいいと思います。
- 女性の低賃金、非正規雇用の差別。まずこれから。この差別をまず無くするのが最初。
- 声に出すことで逆にづらい思いを受ける方は世の中にいっぱいいると思います。パワハラ、セクハラする人は、自分は悪くないと言いづける社会はやっぱりおかしいと思います。大人の悪いことば使いなどを見て、育つ子どもに影響が出るのはあたり前です。だからこそ、学校教育だけでなく、会社、特に上層部の方に、人権問題をよく知ってもらった方がぜったいにいいと思います。

II. 調査結果の分析

- 改めて、日本は働く人に対する人権が侵害されている国だと思いました。それを考えると、日本のほとんどの人は人権を侵害されている状態だと感じます。確かに、LGBTなどのマイノリティへの人権対策は必要だと思いますが、そもそもほとんどの人が人権を侵害されている状態で、そこだけ訴えても心に響かない側面はあると思いました。埼玉県が率先して、労働者の人権問題を解決することができるのか、疑問には思いますが頑張っていたいただきたいというのが正直な気持ちです。

行政への要望

- 昨今の人権意識について。人権の保護は大切な事と同意しますが、権益化したり、逆差別になっていたりするような案件もしばしば見受けられます。通常の人が負担と感じるような保護や啓蒙は行き過ぎであり、ただの抑え込みとなってしまいう事で逆に抑圧を生むのでは無いかと感じています。私は、日本人は自分に問題が降りかから無い限り、基本的に表向きは他人を傷付けるような反応をしない民族だと思っているので、昨今の人権を盾に要求ばかりされている社会に皆少し不満や気持ち悪さを感じているのではないのでしょうか。争いを嫌う為、皆声に出しませんが、逆に被侵害者とされている側に対して反対の意見が出されていない現在の状態も内心の自由を制限されている人権侵害なのではありませんか？どちらの権利も平等に認める社会が正常であると私は考えています。普段の生活において触れる事のないマイノリティの事を常に意識して保護する余裕は今の個人には無く、公的機関や法人レベルで対処していただきたいのが本音です。人権を侵害されたと感じたときに人権問題だと認識する方が多いのではないかと思います。人権侵害を感じたことの無い方にどのように意識を高めてもらえるかなののでしょうかけどなかなか難しい問題だと思います。是非埼玉県には前向きに取り組んでいただきたいです。
- 先日、小学生の息子が埼玉県か市町村で作成されたカード（何かあったらいつでも相談して下さいとの内容）を、学校を通じてもらってきました。まだ小学校一年生ですが説明をしてあげたところ、大事なカードだから筆箱に入れておくと言ってそれ以来そこに入っています。とてもいい取り組みだと思いましたので、これからも是非続けて欲しいと思いました。
- 市、県の窓口の方もお忙しいとは思いますが、相談者の立場に立って寄り添って対応して頂きたいです。「もし自分がそうされたら…」と。
- 教育指導に携わる仕事に従事している学校の先生や民間と人々と接する事が多い国家、地方公務員の方々が率先して人権問題を理解し、対応するスキル（人間性）を確立して欲しいです。
- 行政と住民の信頼関係を樹立させることが必要と感じます。
- 人権侵害は、生来に起因するものと、自己責任に起因するものがあると思いますが、生来に起因する人権侵害に関しては国及び地方自治体により厳しく取り締まる必要があると思います。

- テレビ、新聞等、毎日のように人権問題に関係するニュースが流れていますが、直接自分や身内にふりかかる事がないと、真剣に考えられないものです。子どものうちから、人権・差別に関する教育を推進してほしいと思います。
- 何度も書いてきて恐縮ですが、人権問題については特に、幼い頃からの教育が全てだと思います。すでに偏見を持つ大人に啓蒙活動を行うより、まっさらな状態の子ども達に正しい教育を施すのが一番の近道だと思います。ただ、教師にも偏見を持つ方が少なくないように思いますので、教育内容に偏りが生まれないう、そこは統一していく必要があるのではないかと思います。また、近年は、変に人権意識が高まりすぎて、謙虚さというものがなくなりつつあるような気もしています。人権人権ばかりではなく、バランスが大事なのではないかと思います。
- 普段の生活の中で、あまり人権問題について深く考える機会がなかったので、テレビや新聞、学校の授業やイベント等で取り上げてもらい、多くの人目に触れて考えるきっかけを作ってもらえたらと思いました。でもまずは、人権侵害を受けた方の相談機関やサポートを充実させてもらいたいと思いました。
- 人権問題はイメージが先行しているので実態とかなり違っている場合が多いと思うので事例を基に議論や研究が必要だと思う。

その他

- 人権問題となるとインターネットでは被害者だという声が大きく聞こえます。まずは人権問題の吟味をして頂きたいです。女性の人権話では男性は差別されています。人はどこかで差別をしようと思います。
- 今まで知らなかった人権問題を知る機会になりました。ありがとうございました。どの人権問題についても啓発・広報活動よりも（もちろん必要な事ですが）、それ以上に、被害に遭われている方々への補償に力を入れた方が良いかと思います。
- 私は、今年（令和2年、2020年）に70才になりました。自分としては、ごく普通の生活を送ってきて、これからも送りたいと思っております。夫と息子と娘。娘は結婚し、今年、2才になる孫の男の子もおります。娘一家は別に住んでおりますが、今まで無事で幸せに暮しておりますので、大きな意味での「人権問題」にはかかわっておりません。憲法上の「基本的的人権」は当然保障されていますから、「小さな」人権問題は、「他人に対する優しさ」を身に付けている過程で、自然に体得できるものと考えています。「家庭教育」が大切、と考えます。

II. 調査結果の分析

- すべての方々が住みやすい埼玉であってほしいです。新型コロナウイルス流行の中であぶり出された事が沢山あります。良いチャンスととらえて一丸となって良い方向への解決に向って頑張りたいと思っています。
- 人権問題についてあまり考えた事がなかった。これで良いきっかけとなり、世の中の人権問題について困っている人達の立場になって少しでも住みやすい国に手助けしたい。
- さまざまな問題について無知なことが多々ありました。しかし全て周りがどうしてあげる以前に間違った情報が与えられている。個々の想像力の欠如が大いにあるのかなと感じました。
- いじめや差別のない埼玉県でありますように、思いやりの心を持って、誰れでもが、平等に穏やかに暮らせる事。
- 色々な、人権問題があるのだなと思えさせられました。よりよく、みんな幸せになれる、埼玉県を作っていくないと、思いました。
- コロナ禍で、人と人の触れ合う機会が減ってしまい、人権問題が浮き彫りになった所があります。これからを支える子どもたちの未来のために、少しでも差別など、人権問題が解消されることを願っています。
- もっと小中高生の頃に人権についてたくさんの時間をかけて学びたかったです。小さい頃の学校の先生や親の価値観ばかりが植え付けられる時期に、きちんと学校で多様性のある人権について学ぶべきでした。
- さまざまな人権問題がありますが埼玉県民がより良く暮らしていけるよう活動して下さい。よろしくをお願いします。
- マスメディアの報道の影響力は、すごく高く感じるので、そこで、フラットで自由な考えが生まれる報道をしてほしい。